【石川県ウォーキング協会ホームページ　歩育欄　掲載用】

2020 年 10 月 7 日

研究情報の公開（オプトアウト）

2019 年度に石川県ウォーキング協会では，石川県内の保育園に通う幼児を対象に，冬期の身体活動量を調査しました．この研究は大学の倫理委員会の審査を受け，承認を得て行っているものです．この研究成果は，学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが，名前や個人が特定できるような情報が公開されることはありません．しかしながら，自身（代諾者を含む）の情報等を研究に使用してほしくない場合や研究の発表について詳細を知りたい場合はお問い合わせください．

なお，申し出を行うことで，何ら不利益を受けることはありません．

別紙（添付資料）

金沢医科大学 津田龍佑
r-tsuda@kanazawa-med.ac.jp
076－286－2211（内線 7105）

【石川県ウォーキング協会ホームページ　歩育欄　掲載用】

2020 年 10 月 7 日

【添付資料（詳細資料）】

調査研究の概要（オプトアウト）

1. 研究課題名

石川県内の保育園に通う幼児における冬期の身体活動量

2. 対象者及び対象期間

石川県ウォーキング協会の 2019 年度歩育事業「保育園に通う園児の冬期の身体活動量」にご協力いただいた県内の 8 つの保育園が対象です．対象期間（測定期間）は 2019 年 11 月および 2020 年 1 月です．

3. 概要

本調査研究では，石川県内における保育園児の冬期の活動実態を調査すること，また同じ冬期であっても気候によってどのくらい変動があるのかを検討することを目的としています．調査対象者は石川県下の保育園（子ども園）8 園に在籍する幼児 119 名（男 61 名，女子 58 人）です．保育時間の身体活動状況（歩数，中・高強度の活動時間）を測定するために，腰部装着型の活動量計を用いました．活動量計はほとんどの幼児が登園し終える 9 時から，降園し始める 16 時までの間，着替えや昼寝を除いて装着しました．

4. 研究の目的・意義

幼児の身体活動量は環境や天候などに影響を受けると考えられています．しかし，日本の幼児を対象とした冬期の身体活動量の調査は少なく，また地域によっても大きく異なることが予想されます．そこで本調査研究では，石川県内における保育園児の冬期の活動実態を調査すること，また同じ冬期であっても気候によってどのくらい変動があるのかを検討することを目的としました．本調査は，冬期における幼児の身体活動量の実態を把握するとともに，身体活動量保持増進のための手立てを検討する際に役立つと考えられます．

5. 研究期間

2019 年 11 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日

6. 情報の利用目的及び利用方法

石川県ウォーキング協会の歩育事業として 2019 年度に実施した「石川県内の保育園に通う園児の冬期の身体活動量」の調査をもとに，その実態を明らかにすることを目的と

します．そのために，この歩育事業の調査によって得られた歩数データを二次分析します．なお，分析を行う際には，研究者は個人が特定できないデータを取り扱います．

7．利用または提供する情報の項目

1．園活動中の歩数，2．園活動中の中・高強度の活動時間　3．身長・体重

8．利用の範囲

津田龍佑（金沢医科大学），鈴木宏哉（順天堂大学）

9．お問い合わせ先

金沢医科大学　准教授　津田龍佑
TEL：076－286-2211（内線 7105）
E-mail：r-tsuda@kanazawa-med.ac.jp